

東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)による 「道の駅」の被害と復興に向けた取り組み



特定非営利活動法人東北みち会議
東北「道の駅」連絡会 事務局



「道の駅」の被災状況

- ◆東北地方は道の駅が139駅あります。
- ◆うち、太平洋沿岸地域には17駅あります。
- ◆多くの道の駅は、建物の一部損壊や商品破損等の被害を受けました。被害が比較的少ない道の駅でも、停電・断水及び燃料不足により、運営への大きな影響を受けました。
- ◆次の道の駅は、特に大きな被害を受けています。

被害等状況	駅数	駅名	適用
壊滅的な被害	4	岩手:みやこ 高田松原 宮城:大谷海岸 福島:よつくら港	津波被害
建物被害及び休業	1	福島:ならは	原発警戒区域
物産施設等の休業	1	福島:南相馬	原発緊急時避難準備区域



●みやこ(岩手県宮古市)被災状況

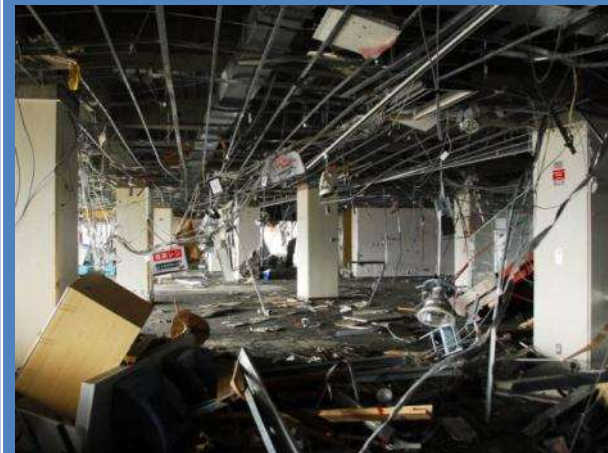
被災前全景



被災後全景



被災後内部



●高田松原(岩手県陸前高田市)被災状況

被災前全景



被災後全景



被災後内部



●大谷海岸(宮城県気仙沼市)被災状況

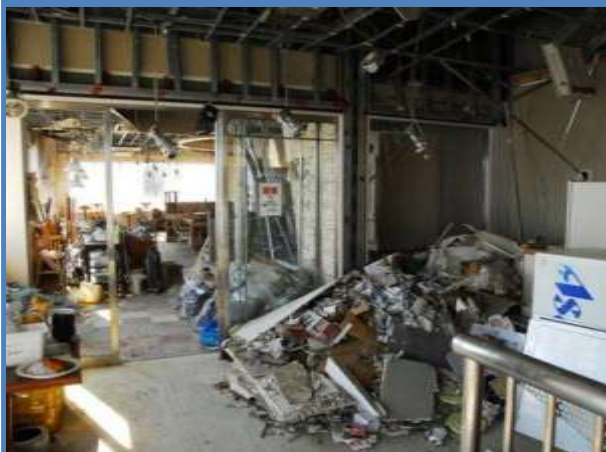
被災前全景



被災後全景



被災後内部



●「よつくら港」(福島県いわき市)被災状況

被災前全景



被災後全景



被災後内部



「道の駅」の被災支援

◆震災の発災後、被災地近隣の道の駅では、緊急避難者受入や被災地の救援などのため様々な支援を行いました。

	支援活動	内 容	駅 名
施設利用	緊急避難者の受入	施設内に緊急避難した道路利用者や被災者の方々の受入や、食料・飲料の炊き出しや商品提供	青森：浅虫温泉、岩手：たろう、宮城：津山・三本木・みなみかた、福島：安達・そうま・南相馬・ひらた ほか
	被災地の救援基地	自衛隊、消防、支援自治体の前線基地や物資の受渡場所	岩手：のだ、宮城：津山・林林館・上品の郷・みなみかた、山形：いいで、福島：そうま・南相馬 ほか
機能面での支援	情報支援	避難者への道路情報、避難所情報等の支援	山形県：いいで・たかはた・寒河江・天童温泉 ほか
	被災地避難所支援	近隣避難所への炊き出しやおにぎり、食材の提供	岩手：やまびこ館、宮城：津山・村田、福島：そうま ほか
	被災地域の生活・復興支援	被災地域の生活支援のため、食料品や日用品など仕入れを工夫した営業やお風呂の提供	岩手：やまだ、宮城：上品の郷・大谷海岸、福島：喜多の郷 ほか



避難所として利用(三本木)



仮設の簡易トイレ(三本木)



搜索拠点としての駐車場利用(南相馬)



自衛隊の前線基地(津山)



日用品の販売(やまだ)



救援物資の避難所として利用(そうま)



生鮮品の販売(さんりく)



あきた港→そうま 21.75m!



あきた港→上品の郷 12m!



いわいずみ



喜多の郷→よつくら港

「道の駅」の震災後の状況（H23.5.1撮影）



道の駅「あきた港」利用者から届いたメッセージ：道の駅「そうま」



休館中の道の駅「南相馬」(福島県南相馬市)



津波被災によるガレキが片付けられた館内／復興支援のイベントの賑わい 道の駅「よつくら港」(福島県いわき市)



「道の駅」 応援メッセージ



「道の駅」の震災後の状況（各地の復興支援イベント）



道の駅「ふくしま東和」(H23.4.17) なみえ焼きそばでの支援



道の駅「上品の郷」(H23.8.6) 宮城県内12駅が集合



道の駅「つちゆ」(H23.9.17) 土湯温泉からの出前足湯



道の駅「三本木」(H23.10.23) 農家の交流会～秋祭り

「道の駅」の震災後の状況（各地の復興支援イベント）



ふくしま復興 道の駅・空の駅まつり (H23.11.12 福島空港)



相馬市民まつり 県内道の駅ブース



(H23.11.3)

●大谷海岸(宮城県気仙沼市)の取り組み

◆津波被害を受けた施設の一部を仮復旧し4月29日より営業再開。

- 目的
- ① 生産者の支援(販売する場の提供)
 - ② 消費者の支援(日用品、食料品など生活用品の提供)
 - ③ 雇用の場の確保(スタッフの一時解雇への対応)

◆「大谷海岸」を含む近隣「道の駅」6駅で構成される“農海林ロード6”により、4月30日に応援販売を実施。豚汁の無料おふるまいなども行った。

道の駅全景と周辺(4月30日)



再開後の店内の様子



豚汁のおふるまい



手作りの陳列棚（道の駅津山の協力）



4/30 テントでの応援販売



●よつくら港(福島県いわき市)の取り組み

- ◆ 津波により被災した後も、交流のあった道の駅の支援を受けて移動販売などを実施。
- ◆ 近隣「道の駅」の協力も受けて跡片付けを行い、仮店舗での営業開始を決意。
復興支援イベント等の開催後、現在は土日のみ営業を行っている。(H23.5.10時点)

被災後(3月30日)



4/17 「道の駅」「ひらた」による復興支援セール（農産物、加工品・菓子などの販売）



4/23 「あいつ『道の駅』交流会」(9駅)による復興支援イベント(お振舞と農産物等の販売)



●福島県内の取り組み

支援の輪は、県内の道の駅へ広がっています。

5/28 道の駅よつくら港（「ひらた」「たまかわ」「ふるどの」による復興支援セール）



5/29 道の駅「南相馬」「そうま」（あいつ「道の駅」交流会 による応援イベント）



「南相馬」



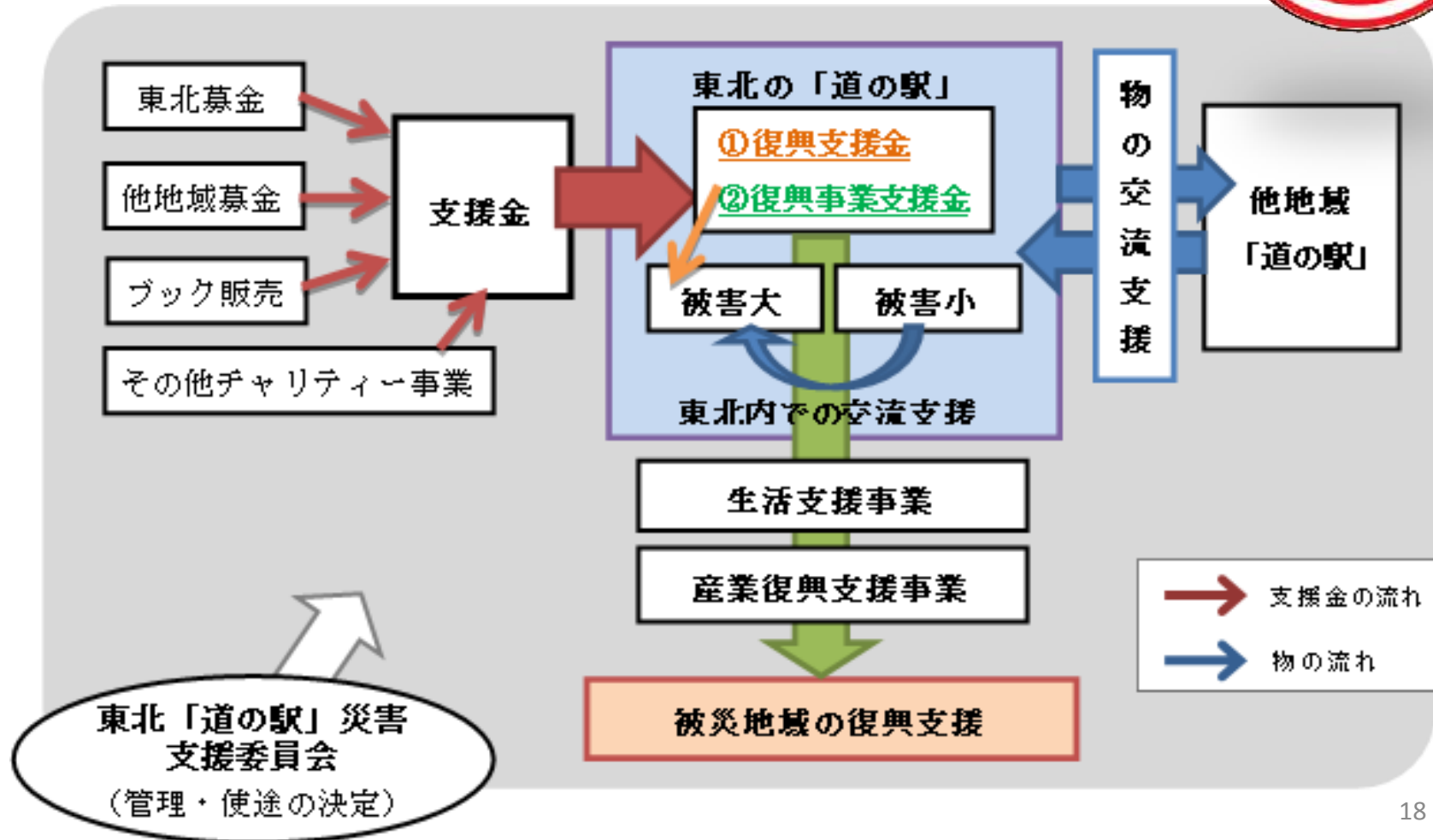
「そうま」

東北「道の駅」災害支援委員会の取組み



<東北「道の駅」災害支援委員会>

- 会長： 道の駅「三本木」駅長 遠藤 栄悦
副会長： 道の駅「しもごう」駅長, 東北「道の駅」連絡会事務局長
委員： 道の駅「とわだ」「遠野風の丘」「かわさき」「上品の郷」「かみこあに」
「おがち」「寒河江」「そうま」「ひらた」 駅長
監事： 道の駅「つるた」「いいで」駅長



東北「道の駅」災害支援委員会の取組み



- ・「東北地方 太平洋沖地震災害支援金」12,765,649円 (H24.5.10時点)
- ・津波等で全壊被害を受けた道の駅に対し、営業再開時に支援金を贈呈。
道の駅「大谷海岸」「よつくら港」(H23.5)、「みやこ」(H24.4)
- ・「道の駅」を通じた復興支援事業を公募し、支援金より補助。
- ・H23復興支援スタンプラリー販売より、1,453,000円を寄付。(1冊100円×14,530人)



↑ H23.5.14
道の駅「よつくら港」
仮事務所内

H23.5.26 道の駅「大谷海岸」



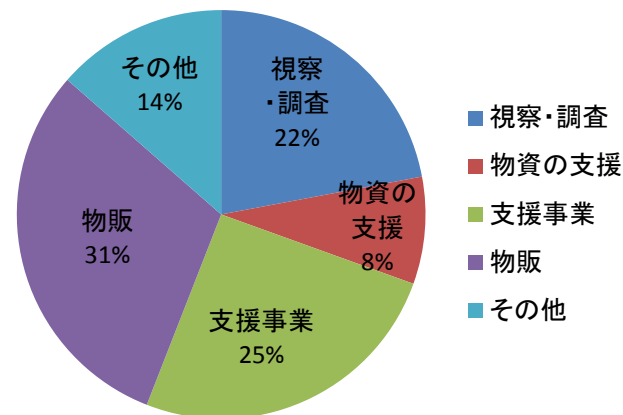
↑ H24.4.12
道の駅「みやこ」
仮店舗内

東北「道の駅」 復興支援の取り組み

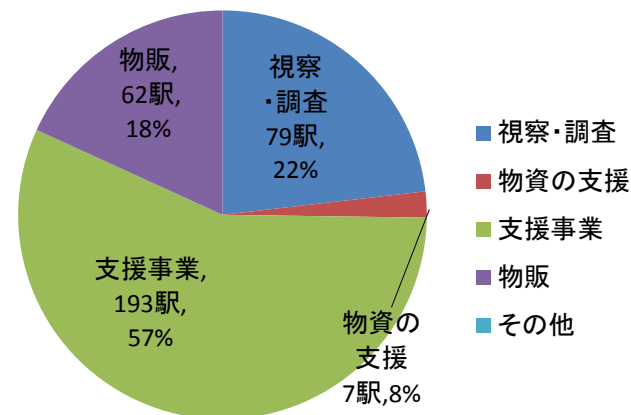
～「道の駅」から地域の復興支援を～

- 全国から寄せられる「道の駅」への支援ニーズに対し東北の「道の駅」とマッチング。
- 視察・調査、物資の支援や支援事業、物販事業などをコーディネートし、「道の駅」から地域の復興を支援。
- 大学、企業など予想以上のニーズがある。
- 全国の「道の駅」からの東日本大震災の復興支援はもとより、今後起こりうる他の災害時にも、道の駅を通じた地域の復興支援ネットワークが機能する可能性は大いに高く、今回の東北「道の駅」の復興支援活動には全国の「道の駅」からの関心が集まっており、波及効果が期待される。

相談件数(N=59)



マッチング成立「道の駅」数
(341駅)



「道の駅」に設置された応援コーナー



併設の震災パネル展

東北「道の駅」震災関連の調査協力

- 多摩大学地域活性化マネジメントセンター／東北「道の駅」大震災研究プロジェクト
東北139駅を対象としたアンケート、29駅へのヒアリング
- 徳山高等専門学校／東日本大震災後の東北「道の駅」アンケート
東北139駅を対象としたアンケート、6駅へのヒアリング
- 東北地方整備局 “「道の駅」における災害対応の実態と今後のあり方検討業務“
(調査受託: 復建技術コンサルタント)

その他、アンケート調査協力多数



現地調査8月～9月
(道の駅「上品の郷」)



多摩大学 東北「道の駅」大震災研究プロジェクト
調査報告会 (H24.2.14 宮城県仙台市)

全国「道の駅」からの支援

九州・沖縄地区「道の駅」連絡会

- 震災直後から、全国の道の駅連絡会より、お見舞いの電話をいただいている。
- 復興市などによる東北の物産販売、募金活動にも協力をいただいている。
→ 募金総額は400万円以上(H24.3.31時点)
- 8/25~27、東北への視察に、8名来訪。
- 福島県(会津若松市)、宮城県(仙台市)にて意見交換会を開催し、東北の「道の駅」からも29名が参加。
- その他、九州の各県内「道の駅」と、東北「道の駅」との物産交流も積極的に継続。



道の駅視察(「ばんだい」)



被災地の視察(福島県相馬市:道の駅そうま近辺)



意見交換会(宮城県・福島県 8月)

全国「道の駅」からの支援

東北・北海道「道の駅」 元気回復スタンプラリー

目的

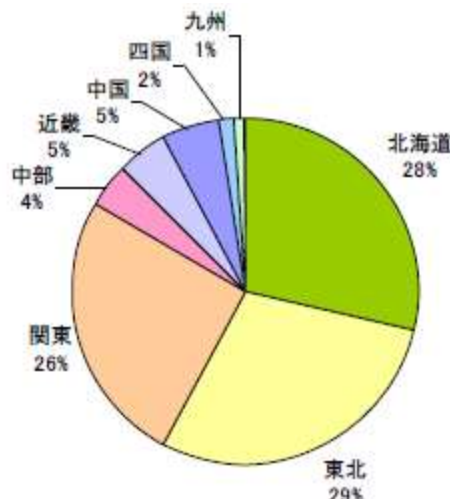
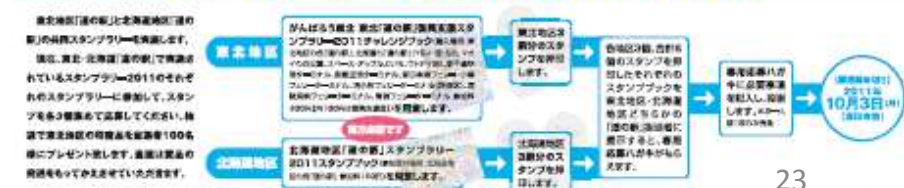
東日本大震災により被災された東北・北海道地区の人々や「道の駅」の一日も早い復興を応援するため、両地区の「道の駅」が連携し、ドライブや観光旅行をより楽しくする期間限定のスタンプラリーを実施します！

東北道の駅の協力事項

- 1)ポスターの掲示
- 2)スタンプラリー参加者の応募受付
- 3)当選者への景品提供(100人分の買取)

応募者数等

- 全国から266人応募
- 応募者は東北(29%)、北海道地区(28%)、関東地区(26%)の順に多い。

南三陸復興支援・みやぎ「道の駅」フェスティバル

- ◆目的 「道の駅」が地域の復興拠点となる中、「道の駅」津山の呼びかけにより、宮城県内道の駅が中核となり、東北・全国の道の駅ネットワークの支援のもと、南三陸の復興支援を目的に実施。
- ◆日時 平成23年9月17日(土)～19日(月・祝)
- ◆会場 「道の駅」津山もくもくランド(宮城県登米市津山町)

全国の「道の駅」には、「特産品販売」への協力を依頼。販売した特産品は、全国「道の駅」から無償提供されたもので、残った物品と売上の一部は、道の駅「大谷海岸」、南三陸町へ寄付しました。





「登米市復興軽トラ」市や、「南三陸復興市」も出店



愛媛県の道の駅「ふわり」が駆け付けて、お餅の振舞い



地元の子どもたちによる伝統芸能の披露





販売には、大学生のボランティアが大活躍



道の駅からの応援メッセージや、手づくりのPOPでPR

被災した道の駅 1年後

- H23. 4より「大谷海岸」「よつくら港」が再開、H24. 3からは「みやこ」も再開しました。
「大谷海岸」「よつくら港」はH24年夏リニューアルが決定、「みやこ」も改築検討中です。
- 現在休業中の道の駅は、「高田松原」(岩手県陸前高田市)、「ならは」(福島県楡葉町)の2駅です。
(H24, 4現在)

●みやこ(岩手県宮古市)



仮営業で再開した店舗
(産直／物産コーナー／食堂)

3月24日より営業再開

H24. 3撮影



物産コーナー内部
(少しずつ地元の商品が復旧)

●大谷海岸(宮城県気仙沼市)



全景(左:情報館/右:直売センター)



仮営業中の直売センター(地元の海産物・野菜・日用品)

●よつくら港(福島県いわき市)



夏にオープン予定の物産館(3階建てでのリニューアル)



仮営業中の大型テント内部(H24.3)